



相談員・講師を派遣

企業内で対象者別に「コミュニケーション」と「キャリア開発」研修

2月から5月にかけて、株式会社ケイテックで「コミュニケーション」と「キャリア開発」に関する研修がシリーズで開催され、外部相談員の瀧井智美氏が講師を務め、当センターからは荒谷相談員がサポートしました。毎回20人程度の方に参加していただきました。ワークショップ中心の研修の中で、ワークライフ・バランス向上につながるよう、みんなが意欲を持って積極的に仕事に取り組める、より良い職場環境にするため、チームで仕事を進める上で必要なコミュニケーションの取り方やその重要性、自分のキャリアについて多くの気づきを得られたという感想がたくさん寄せられました。

1. 管理職編

管理職向けには、「部下からのホウレンソウの受け方」をメインに、ワークショップ中心の研修を先行して実施。

- ▶ 2人一組で話し手と聞き手になり、聞き手が話の途中で割り込んだり、関心を示さなかったりする役割をすると、話し手がどれだけつらいのか・話しかけにくいのかをワークショップで体験。
- ▶ 報告・連絡・相談がしやすい環境をいかにつくるか。
- ▶ サポートリーダーシップに必要な質問はどのようにすればいいのか。
- ▶ やる気を引き出すために部下と、どうかわければいいか。



2. 若手社員編（入社1年目～5年目）

管理職向け研修実施後、若手社員向けには、「ホウレンソウの必要性」をメインに、ワークショップ中心の研修を実施。

- ▶ 報告・連絡・相談の必要性
- ▶ 仕事の進め方・指示の受け方
- ▶ 自分の課題解決とより良いチームワークに向けて
- ▶ 良い仕事ができるためのポイント

3. 中堅社員編（入社5年目～10年目）

中堅社員向けには、「キャリア開発」をテーマに、個人ワークとグループディスカッションを組み合わせた研修を実施。

- ▶ 「ジョハリの窓」の考え方にに基づき、自己開示が可能性拡大にどのように有効であるか、フィードバックを受けることがいかに有効かを確認。
- ▶ 自己分析Ⅰ：ライフラインチャートを作成する中でこれまでの自分を振り返り、その概要を開示して語る中で整理する。
- ▶ 自己分析Ⅱ：どのように仕事をしていた時に最も燃えたのか、どのような時に最も燃えなかったのかを振り返り、その概要を開示して語る中で整理する。
- ▶ 自己分析Ⅲ：今までの自分の振り返りを受けて、これからなりたい自分・成長する自分・自分の目標に向けて進むべき道筋を、中期キャリアパスを作成する中で具体的に考える。そして、今までの自分の成長を支えてくれたさまざまな人々・目指すべき人々との関係も整理して、中期キャリアパスを実現するために反映させる。

